



安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

警告 下記事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります

- 大音量で長時間連続で使用すると聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
- 運転中や歩行中など、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
- 異常を感じる場合は使用しないでください。
- 発煙や発熱、異臭、異音が発生したら、すぐに使用をやめてください。
- 充電しながら使用しないでください。
- 取扱説明書にある充電時間を超えても充電が完了しない場合、そのまま充電を続けると、内蔵バッテリーが破損する可能性がありますので、充電をやめてください。
- ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
- 落雷のおそれがある場合は触れないでください。
- プラグを抜き挿しする際はコードを引っぱらず、プラグを持ってください。
- 異物や液体を入れたり、付着させないでください。
- 高温多湿や直射日光を避けてください。
- 分解や改造をしないでください。
- 子供や乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
- 航空機内での使用は、航空会社の指示に従ってください。
- 医療機器や人命に関わるシステムの近くで使用しないでください。
- ペースメーカーなど、医療機器を使用している場合は事前に医師に相談してください。

注意 下記事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります

- 水分や静電気を帯びた手で触れないでください。
- 定期的にホコリやゴミを取り除いてください。
- お手入れの際はプラグを抜いてください。
- 汚れは、やわらかい布でふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- お手入れの際、ベンジンやシンナーなど溶剤、強力な洗剤などは使用しないでください。
- 目的外の使用はしないでください。

電波に関する注意

- 本製品では、2.4GHz帯域の電波を使用しています。(2.4GHz帯域では、無線LANなどの無線機器、電子レンジなどの産業機器や科学機器、医療機器のほか、工場の生産ラインで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要さない特定小電力無線局、アマチュア無線局などの無線局が運用されています。)
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。
- 本製品を使用する前に、近くで2.4GHz帯域の電波を使用した無線局が運用されていないことを確認してください。
- 磁場や静電気、電波障害が発生するところや、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近くでは、本製品を使用しないでください。
- 万が一、本製品とほかの無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに、使用場所を変更するか、使用をやめてください。
- 電波干渉が発生した場合など、お困りの際はテクニカルサポートへお問い合わせください。

制限事項

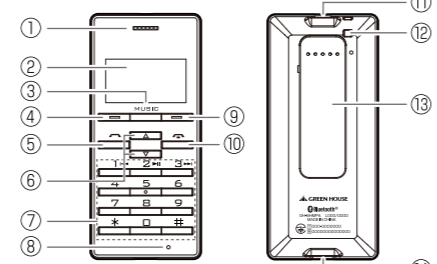
- 本製品の通信距離は最大10mですが、磁場や静電気、電波障害が発生するところや、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せず、接続が途切れたりする場合があります。
- 長時間の使用により、製品が暖かくなる場合があります。
- 磁場や静電気、電波障害によって、雑音が発生する場合があります。
- 対応するBluetooth機器であっても、動作できない場合があります。
- 内蔵バッテリーは繰り返しの充電により消耗しますが、交換できません。

同梱品の確認

パッケージの中以下のものすべてがそろっていることを確認してください。

- 本体
- 専用USB充電ケーブル
- 取扱説明書/6ヶ月保証書(本紙)

各部名称

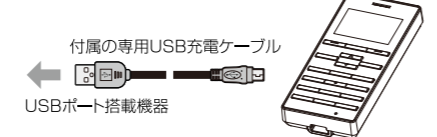


- ①スピーカー 相手の声や音楽を出力します。
- ②ディスプレイ 本製品の状態や電話番号、設定内容などを表示します。
- ③ミュージックボタン 音楽再生画面を表示し、音楽を再生します。 ※パソコンや一部機器では、再生しない場合があります。
- ④ファンクション1ボタン ディスプレイの左下に表示された機能を実行します。
- ⑤発着信ボタン 電話をかける/受けることができます。
- ⑥上下ボタン 設定項目の選択や音量の調節をします。
- ⑦ダイヤルボタン 電話番号や電話帳検索時の文字を入力します。 ※電話帳検索はアルファベットで名前が登録されている場合に限りです。
- ⑧マイク 自分の声を入力します。
- ⑨ファンクション2ボタン ディスプレイの右下に表示された機能を実行します。
- ⑩電源ボタン 電源のオン/オフをします(長押し)、電話を切ります(短押し)。

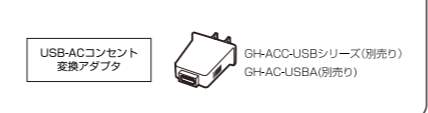
- ⑪3.5mmオーディオジャック イヤホンやヘッドホンを接続します。
- ⑫ストラップホール ストラップを取り付けることができます。
- ⑬クリップ ベルトやポケットなどに取り付けることができます。
- ⑭充電ポート 付属の専用USBケーブルでパソコンと接続して本製品を充電します。

充電方法

- ①電源がオフになっていることを確認してください。
- ②付属の専用USB充電ケーブルを充電ポートに取り付け、パソコンなどUSBポートを搭載する機器に接続してください。
- ③充電中はディスプレイ右上のバッテリーアイコンが、点灯()します。
- ④バッテリーアイコンが全灯()すると充電完了です。USBケーブルを抜いてください。



※バッテリー残量が不足すると、ディスプレイ右上のバッテリーアイコンが点滅し、「ピー」というアラーム音でお知らせします。
※充電中は本製品を使用しないでください。
※ご購入時は充電されていません。初めて使用する前には2時間以上充電してから使用してください。
※電源オフの状態では本製品にUSBケーブルを接続して充電すると、強制的に電源がオフになります。
※USBハブなどを使用すると正常に充電されないことがあります。
※コンセントから充電する場合は、別売りのUSB-ACコンセント変換アダプタをご使用ください。



起動方法

電源オン
ディスプレイに以下の画面が表示されるまで、[電源ボタン] を長押し(約2秒)します。



電源オフ
ディスプレイの表示が消えるまで、[電源ボタン] を長押し(約2秒)します。

ペアリングとは？

Bluetooth機器では、あらかじめ接続する機器を登録する必要があります。この登録をペアリングといいます。ペアリングすると、機器の電源をオフにしても設定が保持され、再度電源をオンにすると、最後に接続されていた機器と自動的に接続されます。

ペアリング方法

- ①相手側のBluetooth機器が1m以内にあることを確認してください。
- ②電源がオンになっているか確認してください。
- ③[ファンクション1ボタン] を押すと、以下の画面が表示され接続モードに入ります。



④相手側のBluetooth機能をオンにして、Bluetooth機器の検出を実行します。

右上につづく

※手順④～⑥の操作は、ペアリング中(「検索中」と表示されている間)に行ってください。
※相手側Bluetooth機器の操作方法は、Bluetooth機器に付属している取扱説明書を参照してください。

- ⑤相手側Bluetooth機器に検出されたリストの中から「GH-BHMPA_series」を選択します。
- ⑥相手側にBluetooth/スキー(パスワード)入力画面が表示されたら、「0000」を入力します。

※Bluetooth機器によってはBluetoothパスキーが表示されずに自動的に接続するものがあります。その場合は手順⑥に進んでください。
※相手側Bluetooth機器のパスワード画面が表示された場合は、設定しているパスワードを入力してください。

- ⑦相手側Bluetooth機器の画面に接続プロファイルの選択が表示されたときは、「HFP(ハンズフリープロファイル)」を選択します。
- ⑧相手側Bluetooth機器の画面に「接続」や「接続しました」「接続完了」などと表示されたことを確認します。
- ⑨ディスプレイには、以下のような画面(トップ画面)が表示されます。接続(ペアリング)した機器のデバイス名(例: GREEN-O1B)が表示されていることを確認してください。



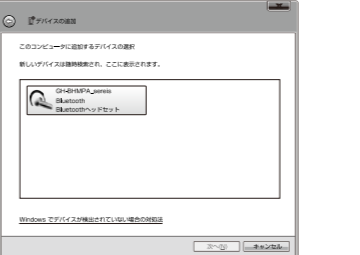
※エラーなどが表示されて接続できない場合は、手順①からやり直してください。
※本製品が相手側Bluetooth機器リストに検出されない場合は、再度検索してください。

Bluetoothプロファイルとは？
Bluetooth機器では、それぞれの機器の役割ごとに定められた通信規約があり、この通信規約をプロファイルといいます。同じプロファイルを持つ機器間のみが通信可能となり、その役割を果たします。
本製品が対応するプロファイルは以下の通りです。
HSP(Headset Profile)
Bluetooth搭載ヘッドセットと通信するためのプロファイルです。モノラル音声の受信や、マイクで双方向通信ができます。
HFP(Hands-Free Profile)
Bluetooth搭載ヘッドセットでハンズフリー通話をするためのプロファイルです。HSPの機能に加えて、通信の発信、着信の機能を持っています。
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
ヘッドフォン向けのプロファイルです。ステレオ音声の受信ができます。
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
AV機器のリモコン操作をするためのプロファイルです。

パソコンと接続する

Bluetooth機能(Bluetooth2.1+EDR無線機能)搭載パソコンを使って、本製品に接続する方法について説明します。
※詳しくは、パソコンやその他の機器に付属している取扱説明書を参照してください。

- ①本製品の電源がオンになっていることを確認してください。
- ②[ファンクション1ボタン] を押し、検索を開始します。
- ③パソコンの「Bluetoothデバイスの追加」を選択すると、以下の画面のようにデバイスが表示されます。



- ④パソコンやその他のBluetooth機器に検出されたリストの中から「GH-BHMPA_series」を選択し、「次へ」をクリックします。
- ⑤「使用するサービスを選択してください」と表示される場合、「ハンズフリー」を選択し、「次へ」をクリックしてください。
- ⑥Bluetooth機器がデバイス一覧に登録されたことを確認してください。
※本製品と接続していない場合は、本製品のアイコンを右クリックし「接続」をクリックしてください。
- ⑦ディスプレイには、以下のような画面(トップ画面)が表示されます。接続(ペアリング)したパソコンのコンピュータ名(例: PC)が表示されていることを確認してください。



※エラーなどが表示されて接続できない場合は、手順①からやり直してください。
※本製品がパソコンやその他のBluetooth機器リストに検出されない場合は、再度検索してください。
※すでに他のBluetooth機器と接続されているために、パソコンと接続できない場合は、Bluetooth機器側に登録された本製品の情報を削除してください。

再度接続する場合

①Bluetooth機器との接続を切断し、再度接続する場合は、「ファンクション2ボタン」を押します。以下の画面が表示され、本製品が接続モード(ペアリング)に入ります。



②接続が完了したら以下のような画面(トップ画面)が表示されます。接続(ペアリング)したBluetooth機器のデバイス名(例: GREEN-O1B)が表示されていることを確認してください。

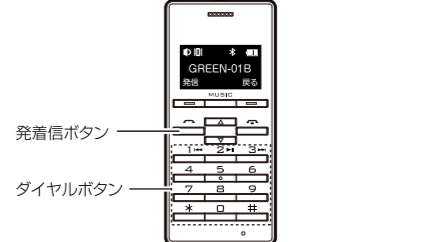


通話をする

本製品を使用して、Bluetooth機能搭載の携帯電話で通話します。

操作を行う前に、以下の内容をご確認ください。
●携帯電話のBluetooth機能が有効になっている。
●携帯電話とのペアリングがHFPやHSPで正常に行われている。
●電話をかける

①ディスプレイに以下の画面が表示されているときに「ダイヤルボタン」で電話番号を入力します。



※入力した電話番号を修正したいときは、[電源ボタン]を押して1桁ずつ削除してから入力直してください。
※電話番号を入力する前に[発着信ボタン]を押すと、履歴の一覧画面を表示させることができます。

②[ファンクション1ボタン] を押すか、[発着信ボタン] を押します。ディスプレイに「発信中」と表示され、電話が発信されます。



右上につづく

③電話を切るときは[ファンクション2ボタン] を押すか、[電源ボタン] を押します。

電話を受ける

- ①電話を着信すると着信メロディが鳴り、ディスプレイに発信者番号が表示されます。
- ②[ファンクション1ボタン] を押すか、[発着信ボタン] を押します。



※着信中に[ファンクション2ボタン]を押すか、[電源ボタン]を押すと、着信を拒否できます。

③電話を切るときは[ファンクション2ボタン] を押すか、[電源ボタン] を押します。

Skypeを使う

本製品を使用して、パソコンにインストールしたSkypeで通話します。

※本製品を接続する前に、あらかじめSkypeをインストールし、ユーザー登録を完了させてください。
※スマートフォン用Skypeでは対応していません。
※Skypeのバージョンによっては使用できない場合があります。

- ①前項の「Bluetoothと接続する」を参照し、本製品とパソコンを接続します。
- ②Skypeを起動し、メニューバーの「ツール」→「設定」をクリックします。
- ③画面左下の「オーディオ設定」メニューをクリックします。
- ④「マイク」と「スピーカー」の項目で「Bluetooth(Bluetooth Audio)」を選択し、「保存」をクリックします。



※Skypeの応答は、[発着信ボタン]を押します。通話を終了するときは[ファンクション2ボタン]を押します。
※[ダイヤルボタン]を押して通話相手を選択することはできません。
※Skype側のオーディオ設定で本製品を指定しても音が鳴らない場合は、「ツール」→「設定」→「詳細」→「詳細設定」→「他のプログラムからのSkypeへのアクセスを管理」にて、Skypeとの連携を許可してください。

裏面へ

